



第135回卒業式 新たな門出

— 6年生43名が西小から新たな一歩を踏みだしました —

3月24日（火）多くのご来賓や保護者の皆様をお招きし、西小学校の卒業式を挙行いたしました。今年度は43名の卒業生が西小を巣立っていきました。保護者の皆様、誠におめでとうございます。今後は、それぞれが西小で培った「かしこく、やさしく、たくましく」を存分に発揮し、中学校でも益々活躍できますよう祈っています。

また、在校生の今後の活躍も楽しみです。西小の子どもたちは、「素直」で「豊かな発想力」と「実行力」を兼ね備えています。西小のこれからに目が離せません。引き続き、皆様に支えていただけたら幸いです。



文科省の「がん教育シンポジウム」に参加して

2月18日（水）本校の研修主任の先生と、養護教諭の先生の2名が文部科学省で行われたがん教育シンポジウムに参加しました。

今回、「がん教育の授業について」の講話や佐賀県、和歌山県の実践発表及びパネルディスカッションに参加する機会をいただきました。ひとつひとつの取り組みの積み重ねが子ども達の将来や心身の成長につながっていることを改めて感じました。養護教諭としてしっかりと学び続けていきたいと思えます。



文部科学省で行われた「がん教育の指導について」の講義では、現代の教育理念の根幹である「主体的・対話的で深い学び」の視点から見た「がん教育」について理解を深めることができました。他県のがん教育実践紹介では、教育委員会、学校、地域、外部講師などが一体となり計画的且つ前衛的な取組ががん教育の推進に繋がることを改めて実感しました。今回の学びを自身の実践に活かしていきたいと思えました。

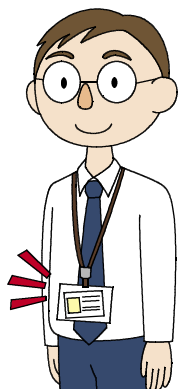


校長室から

「西小の発展を祈念して」

多くの皆様に支えられ令和7年度が幕を閉じます。この一年で子どもたちは、心も身体も大きく成長することができました。子どもたちの成長は、大人とは異なり、急激で未完成な面もあるがゆえに、悩みや失敗、それに伴うトラブルがつきものです。そんな中でも、西小の子どもたちは、いくつかの間違いや失敗を乗り越えて、それらを糧として成長を遂げてくれました。私は、子どもたちに「学校は失敗してもいいところ、間違いに気づいて正しいことを理解し、できるようになるところ。もちろん、同じ間違いはくり返さない努力、人に迷惑をかけないことは必要です。」と話します。誰にとっても失敗は苦い思い出ですが、そこでの経験が後の成長につながると私は思っているからです。今の自分があるのも多くの失敗があったから…といった感じです。もしも、失敗を恐れて挑戦をやめてしまっていたらどうだったでしょうか？何が正解かはわかりませんが、おそらく今とは違う人生になったことでしょう。

まもなく令和8年度が始まります。新しい環境で、新しい人と出会い、新しい一年が始まります。令和7年度に、たくさん走った人もゆっくり歩いた人も、新しいスタートラインでスタートです。必要以上に失敗を恐れたり、誰かを批判したりするのではなく、興味のあること、得意なことに挑戦して行きましょう！そして、輝かしい未来を創る西小の子どもたちへの応援をこれからもお願いします！



＜お知らせ＞

右のQRコードから西小のWebページをご覧いただくと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。

